



【グループワークの手引き】
「日本村」の予算を作ろう！



グループワーク内容

みなさんは、村人から選ばれた村の役員です。
「みんなからどのようにお金を集めて、そのお金をどう使えば、この村の未来を良くできるのか」
を考えて、来年の村の予算を作りましょう！

配布資料リスト

- ①グループワークの手引き(P1~9)
※1人1部ずつ



- ②日本村の概要（2枚）
※1人1部ずつ

2. 日本村のお財布状況

1. 日本村の様子

① 村の人口（100人）について

- ・村人100人のうち、男性49人、女性51人です。
- ・子どもは12人、お年寄りは29人です。
- ・村人のうち、小学生は3人、中学生は3人、高校生は3人、大学生は2人です。
- ・村人100人のうち、50人は人会社の多い賃貸に住んでいます。

② 村の1年間の稼ぎ（500万円）について

- ・村人と村の会社を合わせて、村全体で毎年500万円を稼いでいます。
- ・村は、アメリカ村、中国村、ドイツ村に続いて、4番目にたくさんの会社を抱えています。
- ・村は、昔から日本を守ってきた力であるのが強みでしたが、現在は村人にインターネットサービスなどを提供するサービス企業が很多です。
- ・村のお財布状況は嬉しいですが、それを改善するためには、1年間の稼ぎをこうやって増やしていくのか、とても重要な問題です。

③ 村の良い所（治安、医療、教育等）について

- ・村は他の村と比べても、とても安全な村です。
- ⇒1年間に事件に巻き込まれるのは、100人のうち、1人です。
- ・村は、医療が発達していて、村人皆で助け合っているので、病気やケガをしても、安心お金で病院の先生に診てもらいます。
- ・村では、人の数が少なくて豊かではない集落に住んでいても、同じ公共交通サービスを受けるように工夫を行っています。
- ・村では、人の数が少なくて豊かではない集落に住んでいても、同じ公共交通サービスを受けるように工夫を行っています。
- ・村は、年を重ねても、人々が仲よく暮らす村であります。だからこそ、生活に必要なお金や年金として受け取ることが出来ます。
- ・村が運営している小学校・中学校には、夕方で過ごしが出来る宿舎があります。高齢者や夫婦も、村の子どもが安く通れるように、村が支援しています。

④ 村の課題（少子高齢化、人口減少）について

- ・村では、1年間に生まれる子どもが年々なくなっています。そのため、今の人たが、2050年には84人に減っています。
- ・子どもの人数は、12人 ⇒ 9人
大人（働き手）の人は、59人 ⇒ 34人
お年寄りの人は、31人 ⇒ 41人
- ・人口が減って、介護の環境を考えたり、若者の支援を追及したり、村の働き方を改善したりすることで、村の活性化が図れる社会を目指しています。

2024年 → 2050年

- ③ワークシート（1枚）
※1グループ1部ずつ

「日本村」の予算を作ろう！

この手帳のポイントは……

各予算項目に記入した理由をまとめてください

例文は……「高齢者が多いから」「教育の充実など」

予算項目	予算額	備考
・公共交通費	1,000円	公共交通費
・通信料	500円	通信料
・水道料	300円	水道料
・電気料	400円	電気料
・ガス料	200円	ガス料
・保育園料	1,000円	保育園料
・幼稚園料	800円	幼稚園料
・小学校料	600円	小学校料
・中学校料	700円	中学校料
・高齢者施設料	900円	高齢者施設料
・介護施設料	1,100円	介護施設料
・医療費	1,200円	医療費
・年金	1,300円	年金
・扶助金	1,400円	扶助金
・年金	1,500円	年金
・扶助金	1,600円	扶助金
・年金	1,700円	年金
・扶助金	1,800円	扶助金
・年金	1,900円	年金
・扶助金	2,000円	扶助金
・年金	2,100円	年金
・扶助金	2,200円	扶助金
・年金	2,300円	年金
・扶助金	2,400円	扶助金
・年金	2,500円	年金
・扶助金	2,600円	扶助金
・年金	2,700円	年金
・扶助金	2,800円	扶助金
・年金	2,900円	年金
・扶助金	3,000円	扶助金
・年金	3,100円	年金
・扶助金	3,200円	扶助金
・年金	3,300円	年金
・扶助金	3,400円	扶助金
・年金	3,500円	年金
・扶助金	3,600円	扶助金
・年金	3,700円	年金
・扶助金	3,800円	扶助金
・年金	3,900円	年金
・扶助金	4,000円	扶助金
・年金	4,100円	年金
・扶助金	4,200円	扶助金
・年金	4,300円	年金
・扶助金	4,400円	扶助金
・年金	4,500円	年金
・扶助金	4,600円	扶助金
・年金	4,700円	年金
・扶助金	4,800円	扶助金
・年金	4,900円	年金
・扶助金	5,000円	扶助金
・年金	5,100円	年金
・扶助金	5,200円	扶助金
・年金	5,300円	年金
・扶助金	5,400円	扶助金
・年金	5,500円	年金
・扶助金	5,600円	扶助金
・年金	5,700円	年金
・扶助金	5,800円	扶助金
・年金	5,900円	年金
・扶助金	6,000円	扶助金
・年金	6,100円	年金
・扶助金	6,200円	扶助金
・年金	6,300円	年金
・扶助金	6,400円	扶助金
・年金	6,500円	年金
・扶助金	6,600円	扶助金
・年金	6,700円	年金
・扶助金	6,800円	扶助金
・年金	6,900円	年金
・扶助金	7,000円	扶助金
・年金	7,100円	年金
・扶助金	7,200円	扶助金
・年金	7,300円	年金
・扶助金	7,400円	扶助金
・年金	7,500円	年金
・扶助金	7,600円	扶助金
・年金	7,700円	年金
・扶助金	7,800円	扶助金
・年金	7,900円	年金
・扶助金	8,000円	扶助金
・年金	8,100円	年金
・扶助金	8,200円	扶助金
・年金	8,300円	年金
・扶助金	8,400円	扶助金
・年金	8,500円	年金
・扶助金	8,600円	扶助金
・年金	8,700円	年金
・扶助金	8,800円	扶助金
・年金	8,900円	年金
・扶助金	9,000円	扶助金
・年金	9,100円	年金
・扶助金	9,200円	扶助金
・年金	9,300円	年金
・扶助金	9,400円	扶助金
・年金	9,500円	年金
・扶助金	9,600円	扶助金
・年金	9,700円	年金
・扶助金	9,800円	扶助金
・年金	9,900円	年金
・扶助金	10,000円	扶助金
・年金	10,100円	年金
・扶助金	10,200円	扶助金
・年金	10,300円	年金
・扶助金	10,400円	扶助金
・年金	10,500円	年金
・扶助金	10,600円	扶助金
・年金	10,700円	年金
・扶助金	10,800円	扶助金
・年金	10,900円	年金
・扶助金	11,000円	扶助金
・年金	11,100円	年金
・扶助金	11,200円	扶助金
・年金	11,300円	年金
・扶助金	11,400円	扶助金
・年金	11,500円	年金
・扶助金	11,600円	扶助金
・年金	11,700円	年金
・扶助金	11,800円	扶助金
・年金	11,900円	年金
・扶助金	12,000円	扶助金
・年金	12,100円	年金
・扶助金	12,200円	扶助金
・年金	12,300円	年金
・扶助金	12,400円	扶助金
・年金	12,500円	年金
・扶助金	12,600円	扶助金
・年金	12,700円	年金
・扶助金	12,800円	扶助金
・年金	12,900円	年金
・扶助金	13,000円	扶助金
・年金	13,100円	年金
・扶助金	13,200円	扶助金
・年金	13,300円	年金
・扶助金	13,400円	扶助金
・年金	13,500円	年金
・扶助金	13,600円	扶助金
・年金	13,700円	年金
・扶助金	13,800円	扶助金
・年金	13,900円	年金
・扶助金	14,000円	扶助金
・年金	14,100円	年金
・扶助金	14,200円	扶助金
・年金	14,300円	年金
・扶助金	14,400円	扶助金
・年金	14,500円	年金
・扶助金	14,600円	扶助金
・年金	14,700円	年金
・扶助金	14,800円	扶助金
・年金	14,900円	年金
・扶助金	15,000円	扶助金
・年金	15,100円	年金
・扶助金	15,200円	扶助金
・年金	15,300円	年金
・扶助金	15,400円	扶助金
・年金	15,500円	年金
・扶助金	15,600円	扶助金
・年金	15,700円	年金
・扶助金	15,800円	扶助金
・年金	15,900円	年金
・扶助金	16,000円	扶助金
・年金	16,100円	年金
・扶助金	16,200円	扶助金
・年金	16,300円	年金
・扶助金	16,400円	扶助金
・年金	16,500円	年金
・扶助金	16,600円	扶助金
・年金	16,700円	年金
・扶助金	16,800円	扶助金
・年金	16,900円	年金
・扶助金	17,000円	扶助金
・年金	17,100円	年金
・扶助金	17,200円	扶助金
・年金	17,300円	年金
・扶助金	17,400円	扶助金
・年金	17,500円	年金
・扶助金	17,600円	扶助金
・年金	17,700円	年金
・扶助金	17,800円	扶助金
・年金	17,900円	年金
・扶助金	18,000円	扶助金
・年金	18,100円	年金
・扶助金	18,200円	扶助金
・年金	18,300円	年金
・扶助金	18,400円	扶助金
・年金	18,500円	年金
・扶助金	18,600円	扶助金
・年金	18,700円	年金
・扶助金	18,800円	扶助金
・年金	18,900円	年金
・扶助金	19,000円	扶助金
・年金	19,100円	年金
・扶助金	19,200円	扶助金
・年金	19,300円	年金
・扶助金	19,400円	扶助金
・年金	19,500円	年金
・扶助金	19,600円	扶助金
・年金	19,700円	年金
・扶助金	19,800円	扶助金
・年金	19,900円	年金
・扶助金	20,000円	扶助金
・年金	20,100円	年金
・扶助金	20,200円	扶助金
・年金	20,300円	年金
・扶助金	20,400円	扶助金
・年金	20,500円	年金
・扶助金	20,600円	扶助金
・年金	20,700円	年金
・扶助金	20,800円	扶助金
・年金	20,900円	年金
・扶助金	21,000円	扶助金
・年金	21,100円	年金
・扶助金	21,200円	扶助金
・年金	21,300円	年金
・扶助金	21,400円	扶助金
・年金	21,500円	年金
・扶助金	21,600円	扶助金
・年金	21,700円	年金
・扶助金	21,800円	扶助金
・年金	21,900円	年金
・扶助金	22,000円	扶助金
・年金	22,100円	年金
・扶助金	22,200円	扶助金
・年金	22,300円	年金
・扶助金	22,400円	扶助金
・年金	22,500円	年金
・扶助金	22,600円	扶助金
・年金	22,700円	年金
・扶助金	22,800円	扶助金
・年金	22,900円	年金
・扶助金	23,000円	扶助金
・年金	23,100円	年金
・扶助金	23,200円	扶助金
・年金	23,300円	年金
・扶助金	23,400円	扶助金
・年金	23,500円	年金
・扶助金	23,600円	扶助金
・年金	23,700円	年金
・扶助金	23,800円	扶助金
・年金	23,900円	年金
・扶助金	24,000円	扶助金
・年金	24,100円	年金
・扶助金	24,200円	扶助金
・年金	24,300円	年金
・扶助金	24,400円	扶助金
・年金	24,500円	年金
・扶助金	24,600円	扶助金
・年金	24,700円	年金
・扶助金	24,800円	扶助金
・年金	24,900円	年金
・扶助金	25,000円	扶助金
・年金	25,100円	年金
・扶助金	25,200円	扶助金
・年金	25,300円	年金
・扶助金	25,400円	扶助金
・年金	25,500円	年金
・扶助金	25,600円	扶助金
・年金	25,700円	年金
・扶助金	25,800円	扶助金
・年金	25,900円	年金
・扶助金	26,000円	扶助金
・年金	26,100円	年金
・扶助金	26,200円	扶助金
・年金	26,300円	年金
・扶助金	26,400円	扶助金
・年金	26,500円	年金
・扶助金	26,600円	扶助金
・年金	26,700円	年金
・扶助金	26,800円	扶助金
・年金	26,900円	年金
・扶助金	27,000円	扶助金
・年金	27,100円	年金
・扶助金	27,200円	扶助金
・年金	27,300円	年金
・扶助金	27,400円	扶助金
・年金	27,500円	年金
・扶助金	27,600円	扶助金
・年金	27,700円	年金
・扶助金	27,800円	扶助金
・年金	27,900円	年金
・扶助金	28,000円	扶助金
・年金	28,100円	年金
・扶助金	28,200円	扶助金
・年金	28,300円	年金
・扶助金	28,400円	扶助金
・年金	28,500円	年金
・扶助金	28,600円	扶助金
・年金	28,700円	年金
・扶助金	28,800円	扶助金
・年金	28,900円	年金
・扶助金	29,000円	扶助金
・年金	29,100円	年金
・扶助金	29,200円	扶助金
・年金	29,300円	年金
・扶助金	29,400円	扶助金
・年金	29,500円	年金
・扶助金	29,600円	扶助金
・年金	29,700円	年金
・扶助金	29,800円	扶助金
・年金	29,900円	年金
・扶助金	30,000円	扶助金
・年金	30,100円	年金
・扶助金	30,200円	扶助金
・年金	30,300円	年金
・扶助金	30,400円	扶助金
・年金	30,500円	年金
・扶助金	30,600円	扶助金
・年金	30,700円	年金
・扶助金	30,800円	扶助金
・年金	30,900円	年金
・扶助金	31,000円	扶助金

タブレットを使って、「日本村」の予算を作ろう！

1. タブレットでファイルの入力画面を開く

色のついたマスを選択すると表示される、

▼ のボタンを押すと

入力画面

大幅に増やす
少し増やす
変更しない
少し減らす
大幅に減らす

と5つの選択肢が表示される。

歳出		内	
区分	社会保障	年金	医療
増減	変更しない	変更しない	変更しない
変動額	0	0	0
歳入		大幅に増やす 少し増やす 変更しない 少し減らす 大幅に減らす	

2. 班のみんなで話し合って、選択肢を決めよう

以下の項目の選択肢を決める。

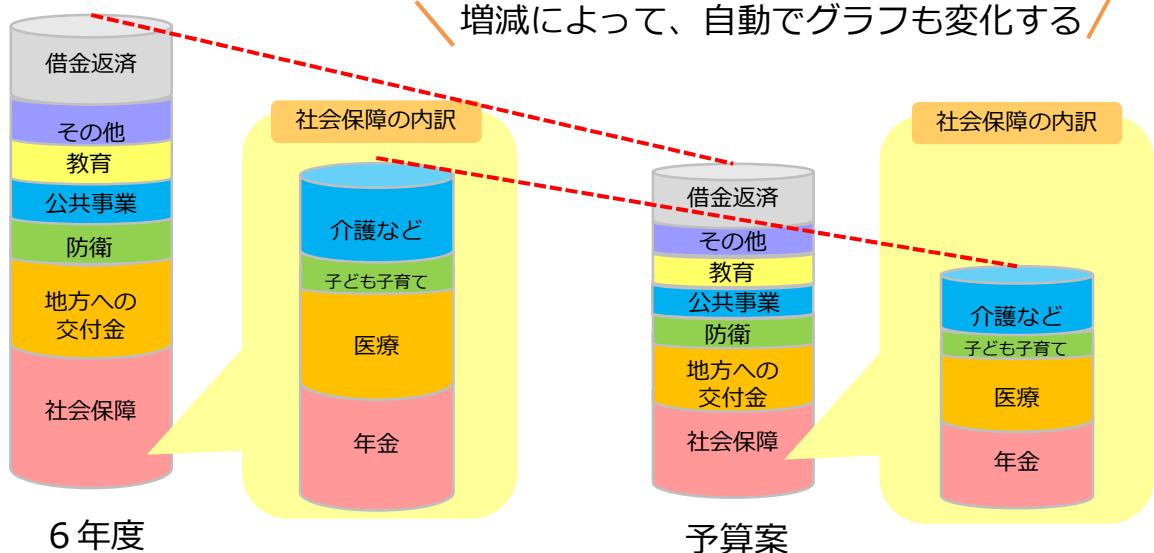
- 歳出
- ①社会保障 ······ 3ページ
 - ②地方への交付金 ··· 4ページ
 - ③防衛 ······ 5ページ
 - ④公共事業 ······ 5ページ
 - ⑤教育 ······ 6ページ

- 歳入
- ⑦所得税 ······ 8ページ
 - ⑧消費税 ······ 8ページ
 - ⑨法人税 ······ 8ページ

3. タブレットの入力が終わると、自動で下のグラフが作成されるので、内容を確認しよう

出力画面

増減によって、自動でグラフも変化する /



4. 出来上がった予算について、班で話し合おう

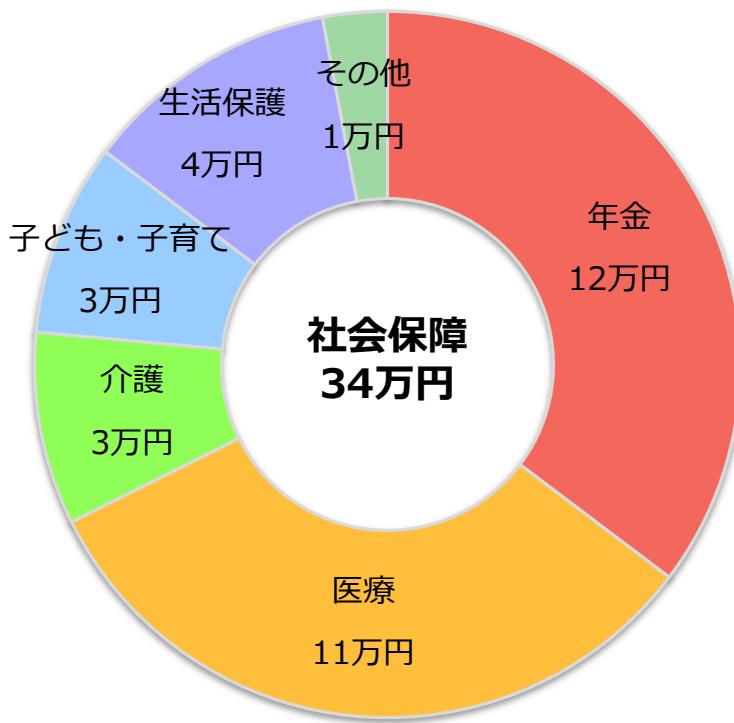
(お金の使い方は問題ないか、この予算で日本村の未来は良くなるかなど)



注意事項

- ・話し合いをするときは、班の意見をワークシートに記録しながら進めよう。
- ・いくつかの班に発表してもらうので、発表の時は、誰が何を話すのか決めよう。
(例)
「それぞれの項目をどうして、増やしたのか、今まで通りにしたのか、減らしたのか」
「どうやって、日本村の将来を良くしていきたいと思うか。」

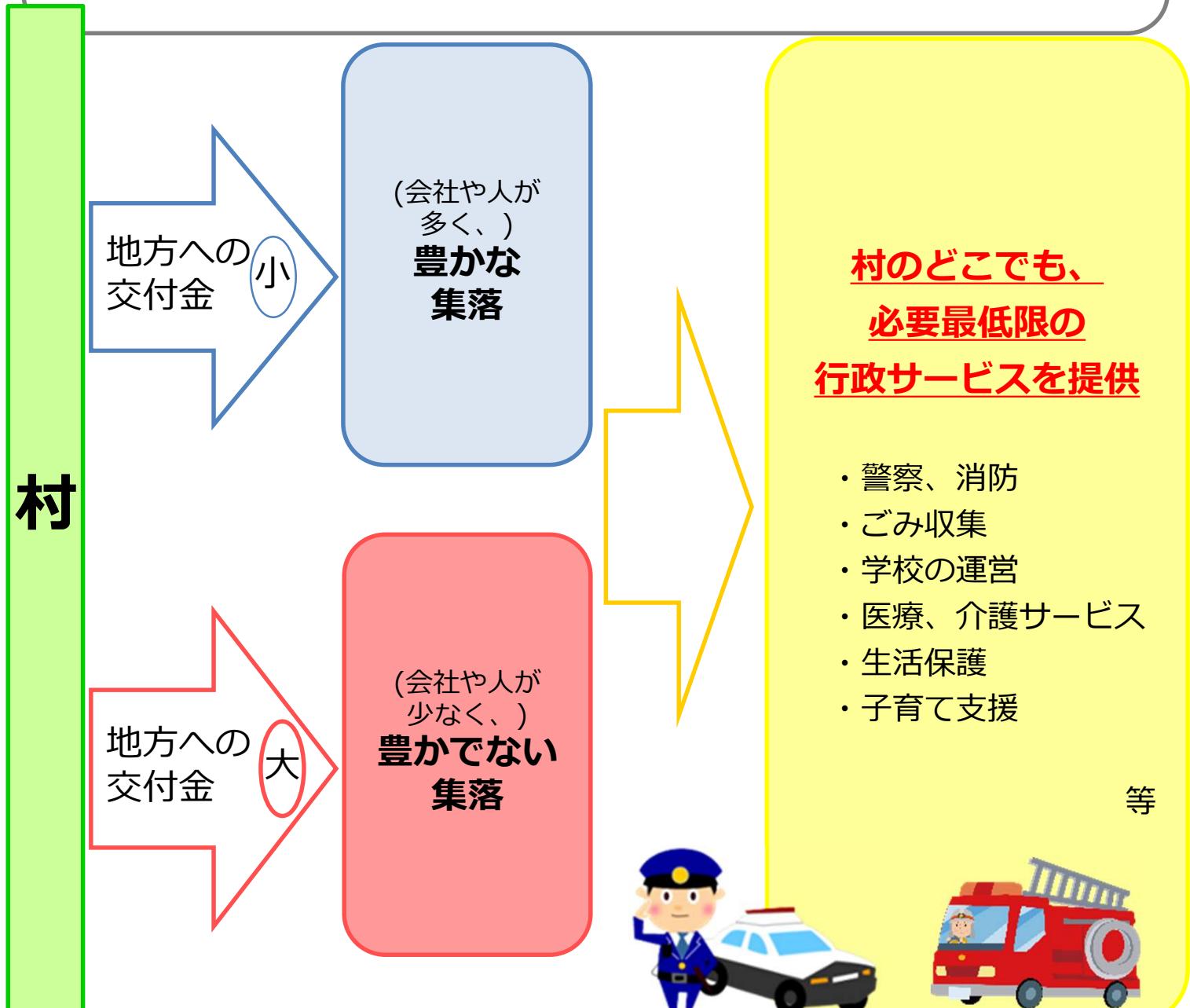
①社会保障（34万円）



- 年金 主に65歳以上の高齢者に対してお金を給付し、仕事が出来なくなつた後の生活を支援するためのお金
- 医療 ケガや病気をした時に、病院で先生に診てもらったり、薬をもらったりするためのお金
(かかったお金の30%以下で済む)
- 介護 年を取つたり、障がいによって、自分1人で生活を送れなくなつてしまつた場合に、生活を助けてもらうサービスを受けるためのお金 (かかったお金の10%で済む)
- 子ども・子育て 子育てにかかるお金を支援したり、保育園を建てたり、子育てをしやすくなるようにするためのお金
- 生活保護 ケガや病気で働けず生活に困つている人が、生活できるようにするためのお金

②地方への交付金(16万円)

- ・村の集落ごとに、会社や人の数にも差があり、集まる会費も違う。
- ・どの地域に住んでいても、警察や消防の活動、ごみ収集などの必要最低限のサービスを受けられるようにするためのお金。



③防衛（7万円）

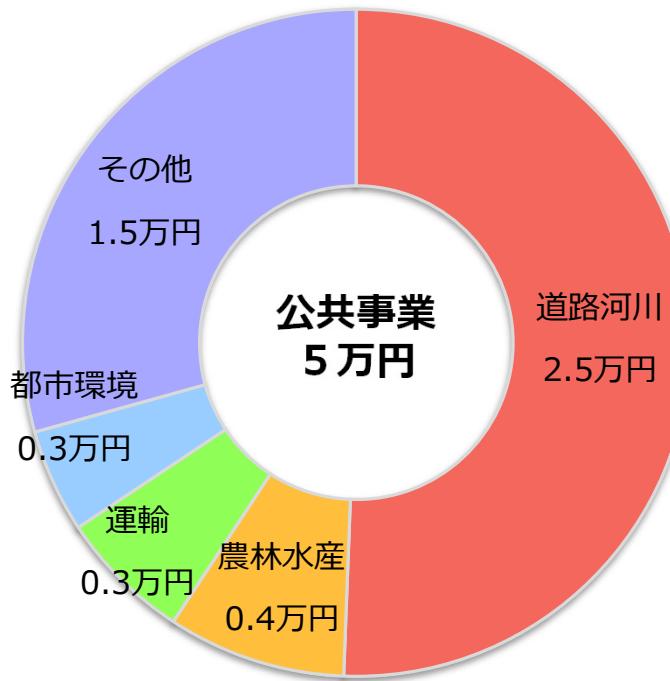
自衛隊を運営するためのお金。大規模災害への対応や外国の攻撃から日本を守るために必要な装備を買うためのお金。また、自衛隊員のお給料。



(主な具体例)

- ① 日本周辺の監視 : ヘリコプター、護衛艦、潜水艦など
- ② 大規模災害への対応 : 輸送機や水陸両用車の取得
- ③ 米軍基地への対応 : 米軍基地の運営、周辺の防音対策

④公共事業（5万円）



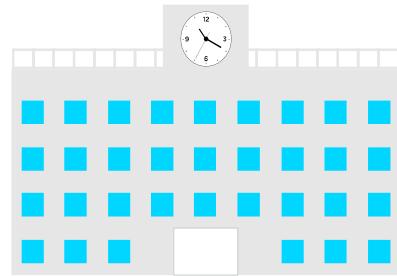
●道路河川 道路や河川の工事や、老朽化対策に必要なお金

●農林水産 農業、林業、漁業の施設整備に必要なお金

●運輸 港湾、空港、鉄道などの運輸施設の整備に必要なお金

●都市環境 住宅や水道の整備に必要なお金

⑤教育（4万円）



●先生のお給料 小学校と中学校の先生のお給料

●私立大学 村立大学の教育・研究・施設整備を支援するためのお金

●幼稚園・小中高 幼稚園、小学校、中学校、高校における教育や施設整備を支援するためのお金

●その他 私立学校を支援するためのお金や、平等に教育を受ける支援をするためのお金 など

その他 ※今回は、増減を検討しない。

●科学技術振興（1万円）

人工衛星を飛ばすためのロケット開発や、新しいエネルギーの開発など、科学技術の発展のために使われるお金



●食料安定供給（1.1万円）

おいしい農産物を食卓に安定的に届けたり、農業の生産性を高めるために必要なお金



●エネルギー対策（0.7万円）

再生可能エネルギーや省エネルギーを推進するための技術の開発、石油・天然ガス・石炭を安定的に供給するための調査や研究などに必要なお金



●国際協力（0.4万円）

開発途上国における橋や道路の整備、開発途上国の子供達に医療や教育を提供するための病院や学校の建設に必要なお金



●中小企業対策（0.1万円）

後継者不足や経営に苦しむ中小企業に対し、生産性の向上、経営支援の強化、資金調達の支援などを行うために必要なお金

借金返済（24万円）

過去の借金返済にあてるお金。すでに返す時期や金額も決まっているので、自由に増額・減額させることが出来ない。

①所得税

給料等から払う
所得税（16万円）

**②消費税**

買い物をするときに払う
消費税（21万円）

**③法人税**

利益を出した会社が払う
法人税（15万円）

**その他の税金（10万円）** ※今回は、増減を検討しない。

ガソリンを買うときに払う
揮発油税（1.9万円）



財産を相続するときに払う
相続税（3.0万円）



お酒を買うときに払う
酒税（1.1万円）



新たな借金（31万円）

$$\text{歳出合計} - \text{税金などの合計} = \text{新たな借金}$$

このまま借金を重ねていくと・・・



問題点

1

将来の公共サービスへの支出が減少



借金を返済するために、将来の国民が受け取れる公共サービスが減少したり、負担が増加するおそれがあります。



問題点

2

財政の余力（ゆとり）が少なくなる



借金が膨らむと、自由に使えるお金が少なくなり、災害などでお金が必要となった場合に、すぐに対応できなくなってしまうおそれがあります。